



# 市議会だより



うん



なん



雲南市役所閉庁式

## 平成27年 9月定例会

|                        |    |
|------------------------|----|
| ● 9月定例会の概要             | 2  |
| ● 第1回臨時会及び9月定例会 主な補正予算 | 4  |
| ● 議案、請願・陳情の審査と結果       | 5  |
| ● 議員発議による意見書           | 6  |
| ● 委員会報告、視察報告           | 7  |
| ● 一般質問                 | 11 |
| ● 中学校3年生が本会議を傍聴        | 16 |

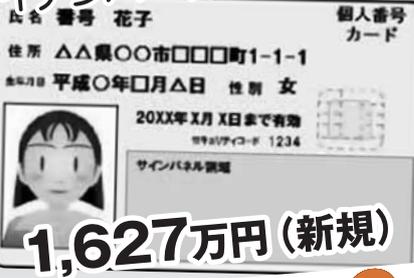
# 4億3,761万円を可決

## 2億6,374万円

## 1億4,387万円

### ・企業会計すべて実質収支、黒字決算を認定

#### ●マイナンバー制度導入事業



1,627万円(新規)

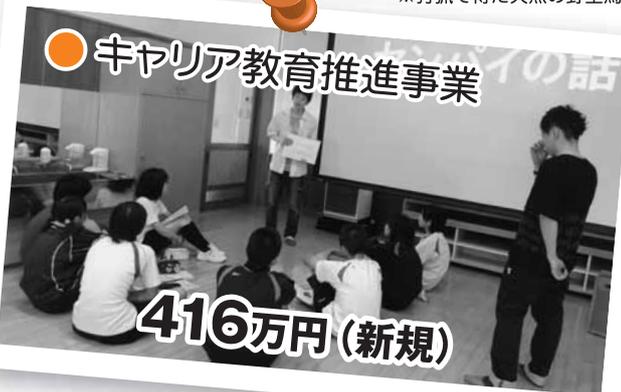
#### ●ジビエ※活用調査事業



44万円(新規)

※狩猟で得た天然の野生鳥獣の食肉を意味することば。

#### ●キャリア教育推進事業



416万円(新規)

9月定例会は9月4日から29日まで開会され、市長の施政方針に続き、条例の制定や一部改正、一般会計・特別会計・企業会計に係る補正予算、平成26年度の一般会計や特別会計等の決算認定が上程されました。慎重に審議した結果、全議案とも可決・認定しました。また、議会に提出された請願・陳情について審議し、2件について国に意見書を提出することとしました。

# 駅前施設整備事業等に

## 旧サンチェリヴァ整備費 チェリヴァホール整備費

平成26年度 決算 一般会計・特別会計

- 旧サンチェリヴァ及び  
チェリヴァホール整備等事業



4億3,761万円(追加)

- 市民バス整備事業



1,234万円(追加)

第1回臨時会は8月4日に開会され、一般会計補正予算1件、病院事業会計補正予算1件、報告議案1件が上程されました。一般会計は、旧サンチェリヴァの整備に係る調査費、病院事業会計は、新病院着工時期の変更に伴うものです。

- 介護施設開設準備経費補助金



1,677万円(新規)

(写真はイメージです)

## 第1回臨時会及び9月定例会 主な補正予算

### 第1回臨時会

| 内 容                     | 補正額        |
|-------------------------|------------|
| 商工施設整備（旧サンチェリヴァ整備調査費）   | 960万円      |
| 病院事業会計資本的収支（新病院着工時期の変更） | △6億9,740万円 |

### 9月定例会

| 内 容                                       | 補正額     |
|---|---------|
| 定住対策促進（空き家バンク等データベース構築業務委託）               | 102万円   |
| ホームページ運営（地方創生事業に関する動画作成及び動画広告）            | 517万円   |
| 防犯街路灯設置補助金（LED防犯灯の自治会要望箇所増加のための増額）        | 90万円    |
| 非常備消防総務管理（団員の退職報償金の増額）                    | 178万円   |
| FM緊急防災ラジオ整備（利用周波数等の確認業務）                  | 80万円    |
| 財産総務管理（職員駐車場整備工事等、新庁舎周辺への桜移植業務委託）         | 900万円   |
| 庁舎管理（里方分庁舎（旧法務局）への発電機設置）                  | 861万円   |
| 高齢者タクシー利用料金助成（利用者増に伴う助成金の増額）              | 668万円   |
| 訪問診療・訪問看護確保対策補助金（訪問診療実施・訪問看護実施に伴う補助金）     | 207万円   |
| 保育所施設小規模修繕（各保育所の小規模修繕）                    | 232万円   |
| 幼稚園施設小規模修繕（各幼稚園の小規模修繕）                    | 146万円   |
| 企業立地促進対策（スマートインターチェンジを含めた神原企業団地検討のための委託料） | 250万円   |
| 農林振興協議会補助金（水田農業担い手協議会・米選機導入支援、下水処理水活用実証）  | 100万円   |
| 集落営農組織ステップアップ支援（農事組合法人すがやへ耐風耐雪ハウス導入）      | 150万円   |
| 地域商業等支援補助金（小売店等持続化支援事業補助金）                | 3,452万円 |
| 観光施設小規模修繕（おろち湯ったり館、深谷温泉、八重滝等の小規模修繕）       | 298万円   |
| 起債道路整備（市道平田上山線の橋梁改修調査費）                   | 5,000万円 |
| 道路維持補修（道路修繕、舗装修繕ほか）                       | 4,805万円 |
| 小学校施設小規模修繕（各小学校の小規模修繕）                    | 170万円   |
| 中学校施設小規模修繕（各中学校の小規模修繕）                    | 161万円   |
| 中学校施設整備（平成28年度三刀屋中学校の学級増に伴う特別活動教室改修工事）    | 440万円   |
| 各種大会選手派遣補助金（中国大会・全国大会等への派遣補助金）            | 329万円   |
| 土曜日の教育支援（土曜学習マイプロジェクトアワードへの参加事業費）         | 158万円   |
| 大東公園管理（体育館耐震補強設計、野球場施設修繕）                 | 1,113万円 |
| 埋蔵文化財発掘調査（菅谷たたら山内・阿用地区ほ場・前原十日市線の調査費）      | 279万円   |

## 議案、請願・陳情の審査と結果

第1回臨時会及び9月定例会に提出された議案、請願・陳情の審査と結果をお知らせします。

### 第1回臨時会

| 平成27年度 補正予算 | 採決結果 | 採決状況 |
|-------------|------|------|
| 一般会計（第2号）   | 可決   | 賛成多数 |
| 病院事業会計（第1号） | 可決   | 全会一致 |

### 9月定例会

| 条 例                              | 採決結果 | 採決状況 |
|----------------------------------|------|------|
| 雲南市役所の位置を変更する条例の制定               | 可決   | 全会一致 |
| 雲南市庁舎会議室の市民使用に関する条例の制定           | 可決   | 賛成多数 |
| 雲南市職員定数条例の一部改正                   | 可決   | 全会一致 |
| 雲南市個人情報保護条例の一部改正                 | 可決   | 全会一致 |
| 雲南市手数料徴収条例の一部改正                  | 可決   | 全会一致 |
| 雲南市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定   | 可決   | 全会一致 |
| 雲南市消費生活センター条例の制定                 | 可決   | 全会一致 |
| 雲南市税条例の一部改正                      | 可決   | 全会一致 |
| 雲南市国民健康保険条例の一部改正                 | 可決   | 全会一致 |
| 雲南市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正 | 可決   | 全会一致 |
| 雲南市定住促進住宅条例の一部改正                 | 可決   | 全会一致 |
| 雲南市木次経済文化会館条例の一部改正               | 可決   | 全会一致 |

| 一 般 事 件                        | 採決結果 | 採決状況 |
|--------------------------------|------|------|
| 雲南圏域1市2町障害支援区分認定審査会共同設置規約の一部変更 | 可決   | 全会一致 |
| 水道事業会計利益の処分及び決算認定              | 可決承認 | 全会一致 |
| 工業用水道事業会計利益の処分及び決算認定           | 可決承認 | 全会一致 |

| 平成27年度補正予算         | 採決結果 | 採決状況 |
|--------------------|------|------|
| 一般会計（第3号、第4号）      | 可決   | 全会一致 |
| 国民健康保険事業特別会計（第2号）  | 可決   | 全会一致 |
| 後期高齢者医療事業特別会計（第1号） | 可決   | 全会一致 |
| 簡易水道事業特別会計（第2号）    | 可決   | 全会一致 |
| 水道事業会計（第2号）        | 可決   | 全会一致 |
| 工業用水道事業（第1号）       | 可決   | 全会一致 |
| 病院事業会計（第2号）        | 可決   | 全会一致 |

| 議 員 発 議                       | 採決結果 | 採決状況 |
|-------------------------------|------|------|
| ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書 | 可決   | 全会一致 |
| 「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書        | 可決   | 賛成多数 |

| 平成26年度決算認定             | 採決結果 | 採決状況 |
|------------------------|------|------|
| 一般会計歳入歳出決算認定           | 承認   | 全会一致 |
| 国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定     | 承認   | 全会一致 |
| 後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定  | 承認   | 全会一致 |
| 農業労働災害共済事業特別会計歳入歳出決算認定 | 承認   | 全会一致 |
| 簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定     | 承認   | 全会一致 |
| 生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定   | 承認   | 全会一致 |
| 財産区特別会計歳入歳出決算認定        | 承認   | 全会一致 |
| 土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定   | 承認   | 全会一致 |
| ダム対策事業特別会計歳入歳出決算認定     | 承認   | 全会一致 |
| 清嵐荘事業特別会計歳入歳出決算認定      | 承認   | 全会一致 |
| 病院事業会計歳入歳出決算認定         | 承認   | 全会一致 |

| 諮 問                         | 採決結果 | 採決状況 |
|-----------------------------|------|------|
| 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて | 適任   | 全会一致 |

| 報 告                            |
|--------------------------------|
| 株式会社キラキラ雲南の経営状況の報告について         |
| 公益財団法人鉄の歴史村地域振興事業団の経営状況の報告について |
| 雲南都市開発株式会社の経営状況の報告について         |
| 雲南市土地開発公社の経営状況の報告について          |
| 市有林の信託に係る事務処理状況の報告について         |
| 平成26年度健全化判断比率の報告について           |
| 平成26年度資金不足比率の報告について            |

| 請 願 ・ 陳 情                             | 採決結果 | 採決状況 |
|---------------------------------------|------|------|
| 人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を求める陳情   | 採択   | 全会一致 |
| 「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書提出に関する請願        | 採択   | 賛成多数 |
| 市水道設置に関する陳情書                          | 採択   | 全会一致 |
| 島根原発の稼働・再稼働に反対し再生可能エネルギーの飛躍的な普及を求める請願 | 不採択  | 賛成少数 |

### ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書（抄）

近年、一部の国や民族あるいは特定の国籍の外国人への差別をあおる、いわゆるヘイトスピーチが社会問題となっている。

昨年、国際連合自由権規約委員会は、「あらゆる形態の人種差別の撤廃に関する国際条約（人種差別撤廃条約）」上の人種差別に該当する差別的言動の広がり懸念を示し、締約国である日本に対し、法による規制を行うなどのヘイトスピーチへの適切な対処に取り組むことを強く求める勧告を行っている。

また、最高裁判所は平成26年12月9日付けの決定で、ヘイトスピーチを行った団体の発言を人種差別撤廃条約で禁じられた人種差別に該当すると認定するとともに、同団体の示威活動等の行為が表現の自由によって保護されるべき範囲を超えているとして、この行為の差し止めを命じた下級審判決に対する上告を棄却し、確定させたところである。

このような国内外の情勢を踏まえ、今国会において、「人種差別撤廃施策推進法案」が審議されている。国におかれては、表現の自由に充分配慮しつつも、ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を速やかに講じられるよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年 9月29日

島根県雲南市議会

提出先

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
法務大臣

### 「青少年健全育成基本法」の制定を求める意見書（抄）

21世紀の社会を担う青少年の健全育成は、全ての国民の願いである。

しかしながら、今日我が国の相次ぐ少年の凶悪事件等にみられるように、青少年の荒廃は深刻な事態に直面している。その要因として、頻発する児童・幼児虐待事件等に象徴される家庭崩壊、また、倫理・道徳教育等の欠如にあるといわれている。

とりわけ地域社会においては、露骨な性描写や残虐シーン等を売り物とする雑誌や有害番組の出現も指摘されている。

このような社会の現状を見るとき、青少年の荒廃は、我々大人が「青少年を見守り支援し、時には戒める」という義務を果たさなければならない。

これらの問題に対して、各都道府県の「青少年健全育成条例」等が対処し、一定の効果を挙げてきたが、今日ではその限界性が指摘されている。

「健全な青少年は健全な家庭から育成される」という原点に立ち返り、「家庭の価値」を基本理念に据えた「青少年健全育成基本法」は、先の国会では審議未了で廃案となっているが、早急な制定が必要である。

このことから、国会及び政府に、「青少年健全育成基本法」の制定を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見を提出する。

平成27年 9月29日

島根県雲南市議会

提出先

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
ほか関係大臣

# 委員会報告

## 総務常任委員会

委員長 佐藤 隆 司

### (議案の審査)

委員会に付託及び委託された7件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

### (主な審査状況)

・「雲南市庁舎会議室の市民使用に関する条例」の制定について

新庁舎の完成に伴い、庁舎内の会議室、1階の多目的ホールを市民利用に供するための条例制定です。

使用時間は、市民が利用し易くするために、平日の空いている時間にすべきだとの質疑に対し、市の業務に支障が生じないことを基本としていることから、業務終了後と可能状態にするとともに、室内セキュリティの確保に要する時間が必須であるとの答弁でした。使い易い市民開放施設『オモテ座敷』と『ロク

座敷』は、新庁舎のコンセプトであり、多くの市民に利用されなければならない。開庁後の状況を見ながら引き続き検討するように求めました。



市役所新庁舎

・「雲南市職員定数条例の一部を改正する条例」について

市立病院の職員定数を255人から275人に変更する条例改正です。職員配置計画の変更理由の質疑に対して、8月提出分との違いは、現場と再度協議する中で要望に

より変更したとの答弁でした。

病院の自立的な運営の確保と健全経営のために職員定数の見直しは理解できるが、8月に説明された収支計画に基づく計画の内容が変更されたものであり、計画立案に当たり、病院内の検討体制が不十分であることを指摘しました。

### (主な予算審査)

・防犯街路灯設置事業補助金は、当初予算90万円に対し、90万1千円を増額する補正です。

他の補助事業は当初予算内で打ち切りとなる例があるが、この事業の補正の考え方はとの質疑に対し、毎年、7月頃に期限を区切って希望取りまとめを行ない、不足分を9月補正で対応するようになっている。他の補助事業との整合性を図り、街路灯設置事業は、今後事業の見直しも含めて検討するとの答弁でした。

## 視察報告

福岡県筑後市 定住施策について  
大分県豊後高田市 移住・定住支援制度について

7月1日から3日に視察研修を行いました。筑後市は、人口4万9,000人。これまで近隣のベットタウン化による増加人口が、今後は減少することから定住施策に取り組まれています。

短期的視点として、筑後の暮らし易さのPR、通勤・就業、定住に結び付け、筑後のファンづくりによる転入者増が図られていました。また、中期

的視点では、出生数の増を図るため、出会いから結婚、住まい、出産、子育てまでの一貫した支援策が目指されています。いまし



筑後市恋木神社

豊後高田市は、人口2万3,500人を3万人に増やす大きな目標が掲げられていました。

「住みたい田舎」全国第1位に選ばれ、「昭和のまち」として「まち」の売り込みが展開され、女性の担当職員による、女性目線、市民目線で移住・定住に手厚い支援策がきめ細やかに幅広く取り組ま



豊後高田市商店街

定住促進は幅広い展開が必要で、本市でも地域住民と行政が一体となって「オール雲南」で「イトコ」をプロモーションする体制が不可欠であることを研修しました。

## 教育民生常任委員会

委員長 山崎正幸

### (議案の審査)

委員会に付託及び委託された14件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

### (主な審査状況)

・「雲南市木次経済文化会館条例の一部を改正する条例」について

キラキラ雲南の指定管理業務は文化事業のみであるが、商業部分を受けられることができるのかという質問に対して、株主総会を開催し、商業施設の管理運営委託に関する定款変更が行なわれたと答弁がありました。また、指定管理料と家賃は、民間経営との不公平感が生じないよう基準を示すべきではという質問に対して、これまでの営業実績を踏まえ、最低限必要な経費を担保すると答弁がありました。

### (主たる予算審査)

・高齢者等タクシー利用

料金助成事業668万6千円の増額については、

目的の地までが遠距離の利用者にとっては負担が大きくなる。上限の設定を再検討する考えはという質問に対して、現在の利用状況、利用金額、利用者数を精査し検討したいと答弁がありました。高齢者等の移動手段には有効な事業であるが、事業継続に向け、様々な視点で検討が必要であるという見を付しました。

・国民健康保険事業特別会計補正予算については、財政調整基金から1億2,932万6千円を繰り入れ運営しているが、基金残高及び今後の見通しについての質問に対して、26年度末残高は2億1,524万円であった。27年度は1億9,869万5千円を取り崩し、基金残高は316万9千円となった。今年度、保険料

率を3%引き上げたが、医療費が右肩上がりが高騰すれば基金は枯渇すると答弁がありました。

また、基金が枯渇すれば一般会計から繰り入れる考えかという質問に対して、税金を投入するには市民の理解が必要であり、行なっていないが、国保はセーフティネットなので、研究検討したいと答弁がありました。今後、健全経営に向けて、十分協議し、医療負担が過大にならないよう求めました。



チェリヴァホール駐車場

## 視察報告

大阪府池田市

山の家「スマイルファクトリー」の取り組み

岡山県総社市

障がい者千人雇用への挑戦

教育民生常任委員会

は7月6日から7日に視察研修を行いました。

・スマイルファクトリーの取り組み

平成15年9月から山の家を拠点に不登校、ひきこもり、発達障がい等の課題を抱える子どもや若者の教育相談事業(スマイルファクトリー)を開始されています。行政や教育機関と緊密な連携を保ち、子ども達の学習・生活能力の成長に合わせ、個別相談やスクーリング、家庭訪問等に取り組み、池田市の不登校の人数は大幅に減少し成果を上げていました。

・総社市の障がい者千人雇用への挑戦

平成23年4月から障がい者千人雇用を開始し、

平成27年6月現在865人が就労しています。

障がい者千人雇用センター、市役所、ハローワークの三本の矢で体制を確立。併せて事業所間のネットワーク化を図り、障がい者一人ひとりが安心して人生を幸せに生かすことができる社会づくりを目指しています。



スマイルファクトリー視察模様

# 委員会報告

## 産業建設常任委員会

委員長 周藤 正志

### (議案の審査)

委員会に付託及び委託された6件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

### (主な審査状況)

・「雲南市定住促進住宅条例の一部を改正する条例」について

この条例は、今年3月に改正したものを、減額対象の「子ども」の定義を明確にするための再改正です。条文がまわりくどく解りにくいとの指摘に、他の例を参考にして厳密を期しているとの答弁でした。また、同居の定義はどうかとの問いに、基本は住民票だが、事実確認も行なうとのことでした。なお、「子ども」の定義を15歳までとしており、総合計画や子ども・子育て支援法における18歳までとは、整合していない。予算が絡むことから、子ども医療費

の助成と同様に15歳までとしていることは、理解できるが、市としての「子ども」の定義や子育て支援のあり方を、きちんと整合させていくことが必要であり、今後の課題としました。

### (主な予算審査)

・農業振興協議会補助金のうち、米選機1.9mmふるい目導入に関して、利用見込みはどうかとの問いに、時代の流れもあり既にJAへ50件の申込みがあっている。収穫量は微減するが、農業生産者の自発的な取り組みに応えるものとの答弁でした。また、下水道処理施水「宝の水」活用事業については、その活用報告内容を問い、佐賀市を参考に畜産施設への実証を試みるとのことでした。・ジビエ活用調査事業に取り組むとしているが、先進地の例からして、事

業化には相当の困難が予想されていることから、十分な検討が必要であると指摘しました。

・木次駅前商業棟に関する4億3,760万円の補正については、先の臨時会で可決した設計費に基づき修繕等の事業費です。必要性や内容について臨時会や全員協議会、本委員会で議論を重ねてきました。木次駅前における商業施設として、重要な役割を担ってきたことから、事業費はかかるが、できるだけ早く再開することが必要であると判断しました。

## 視察報告

群馬県川場村

道の駅「田園プラザかわば」

6次産業化の取り組み

農林水産省

中山間地域の農林業政策について

産業建設常任委員会は7月14日から16日に視察を行いました。

「田園プラザかわば」は群馬県の北部にある道の駅で、年間150万人が来場し、道の駅ランキングで東日本1位に輝いています。

川場村のまちづくりの基本路線である「農業＋観光」の中核施設であり、村の特産品を生かした6次産業化が推進されています。緑豊かな5haの広大な敷地には、ミルク、ミート、ビール、パンの各工房のほか、ブルーベリー館、そば処、レストラン、遊具もあり一日楽しめます。この施設により①若者の就労の場確保②地場産品のPRと消費拡大③新たな特産品開発

の実現などの成果が上がっています。首都圏からは、関越道で90分、ICを降りて10分という利便性が、集客の大きな要因です。農産物をいかに生かしていくか、PR方法や販売ルートの開拓にも力が入れられていました。

また農林水産省では、中山間地域での農業振興策、木材産業の現状と課題、林業の成長産業化について説明を受けました。



鍋山ライスセンター



道の駅「田園プラザかわば」

## 決算審査特別委員会

委員長 深田 徳夫

### (審査の総括)

9月議会初日に、議長及び監査委員を除く18名で構成される決算審査特別委員会を設置し、付託を受けた議案91号・92号及び認定1号から11号までの13議案の総括説明を受け、その後各常任委員会による分科会に委託しました。

### (審査の視点)

審査において、「主要施策の実績」である事務事業シート等を参考に、議会が決定した予算が趣旨と目的に従って適正に執行されたか、必要性、妥当性、達成度、費用対効果などの観点から審査しました。

### (決算の状況)

平成26年度は合併から10年を迎えた雲南市総合計画後期計画の最終年度であり、重点施策事業の拡充を図り、当初一般会計予算は前年比8.8%増

で、過去最大の予算規模とされたが、これの決算では、歳入311億6,800万円、歳出307億5,000万円、うち歳入の自主財源は67億3,600万円、依存財源は244億3,200万円となっており、地方交付税が全体の49%を占める状況となっています。

また、財政指標の最も重視する市債の実質公債費比率は13.4%（前年比1.2ポイント減）となっています。

このような決算状況を踏まえ、審査にあたって財政運営が健全であること、予算と決算の執行状況、施策が市民生活の向上に結びついているか、情報開示が積極的であるか、また今後も事務事業がより一層効果的に実施されるかに留意しながら行ないました。

その結果、認定第1号

(一般会計)、認定第2号(国保会計)は反対討論がありました。賛成多数、その他については全会一致で、付託された13議案すべてについて可決及び認定すべきものと決定しました。

26年度の決算状況は一般会計、特別会計、企業会計全ての実質収支は黒字となっています。全会計において、概ね事務事業等における必要性、妥当性、達成度、費用対効果など努力が重ねられ、健全な財政運営の姿は見えつつあると判断いたしました。しかし、保険料・使用料などの収入未済額などは、前年度比では減少しているものもまだ多額であり、公平な負担こそ、市民の一体感も促進され、また自主財源確保の上からも一層の取り組みが望まれます。

### (審査意見)

審査の過程においての各委員から様々な意見・提言は、おって議長から

事務事業評価書にまとめ提出することにし、主旨が十分に反映されることを求めました。

第2次総合計画がスタートする本市の財政状況は、市立病院建設の事業費拡大や、中心市街地活性化基本計画、スマーティンターチェンジを含む企業団地造成事業、そして少子・高齢化対策事業など課題

入を控え、更なる財政健全化への取り組みにあたっては、行政評価制度を活用し、市民への説明責任を果たし、人口の社会増の実現に向け、そして市民福祉の向上の様々な事業が有効に展開が図られるよう、なお一層の努力を期待し審査を終えました。

は山積しており、地方交付税の一本算定による減額分の3分の2が還元されたとはいえず、市の財政を取り巻く状況は引き続き厳しいものと考えられます。

平成30年度から始まる新地方会計制度の導



雲南市立病院完成予想図

# 一般質問

一般質問のページは質問者本人の責任のもとに原稿を掲載しました。また質問項目すべてを載せているものではありません。

## 14名の議員がズバリ市長に問う

### 雲南市の財政 運営状況は



堀江 治之

**問** 合併以降の財政運営を振り返り、市長所感は。

**答** 平成17年度当初「財政非常事態宣言」を発したが、普通建設事業の圧縮、補助金の見直し、職員の削減、給与カット等を実施し、非常事態を脱することが出来た。市民の皆様のご協力あってこそであり、心から敬意を表し、感謝申し上げます。  
**問** 特定の個人を識別するための12桁の番号（マイナンバー）が10月から、

全市民に通知されることとなっているが、その準備状況は。

**答** 電算システムの改修を進めている。条例制定、一部改正は今議会に提案している。個人に対する番号の通知は11月10日頃より配送される予定。

**問** マイナンバー制度を市民の方は十分に理解されているか。

**答** 市のホームページ、市報うんなん9月号に掲載し、周知に努める。

**問** マイナンバー制度の情報漏えい対策は。

**答** 種々の安全対策が講じられている。取り扱いについても細心の注意を払って安全対策に努める。

### 介護現場の 労働力不足の対策は



細木 照子

**問** 今年の3月時点で、

要支援・要介護の認定を受けた方は、全国で前年比2万人増の606万人となった。ますます厳しくなってくる介護現場の労働力不足の対応をどのように考えているか。

**答** 本市も介護現場の人材不足は深刻だ。今年度は現場の実態調査をし、来年度に、具体的対策を打ち出したい。市長会を通じて県・国に要望をしたい。

**問** 今年の夏は、世界各地で「前代未聞の熱波」と言われた。気温、雨、

風の異常気象は、地球温暖化が原因と言われる。異常気象による災害対応策について本市の考えを

伺う。

**答** 最近の気象変動は非常に極端になる傾向で、対応策を考慮する必要がある。国・県と連携し、防災情報を早めに入手して対応策がとれる体制にしたい。

**問** マイナンバー制度の情報流出は大丈夫か。

**答** 扱う職員側の運用面の厳格化を図る。

### 新庁舎完成は市民 と共に祝うべきだ



佐藤 隆司

**問** 新庁舎を拠点に、今後の飛躍の10年につなげるまちづくりの考えは。

**答** 第2次総合計画をベースに策定した総合戦略の、子ども・若者・大人チャレンジの連鎖を進める。

**問** 新庁舎の見学会は、

施政方針で積極的にPRされるべきだ。

**答** 施政方針に述べるべきであった。今後、情報発信に努める。

**問** 40億円をかけた庁舎建設である。市民の関心も高く、共に喜びを共有し合うセレモニーやイベントはされるのか。

**答** 円滑な業務の開始、竣工式に神経を注いでいる。開庁や竣工式を計画しているが、それに合わせた市民が参加するイベントの考えはない。

**問** 50年に1度のタイミングだ。子どもたちの夢と希望を乗せた風船飛ばしや餅まき、市民コーラス、神楽や太鼓など次代を担う子供や若者、そして、女性の活躍の順番をつくる配慮がないのか。

**答** 検討する時間が必要だ。今年度は難しいが共有できるイベントを考えたい。

今でも商業基盤の  
ダム化は必要か



小林 眞二

**問** 第2次総合計画を基  
本として策定された市創  
生総合戦略の現状分析は。  
また、この戦略は新聞特  
集で酷評であったが見解  
は。

**答** 20代から30代の子育  
て世代を中心とし、人口  
の社会増が目標。向こう  
3カ年では、社会減が最  
も少なくなると推察。個  
別事業の評価については、  
10月を目途に中間評価を  
行ない、来年度予算編成  
に向け見直しを図りたい。  
新聞内容の誤りについ  
て新聞社へ質したが回答  
はない。これから雲南市  
のまちづくりがどう展開  
していくのか、つぶさに  
観察し新たな目で記事に  
して頂きたい。

**問** 旧サンチェリヴァア開  
店後をイベント会場など  
での再利用の考えは。ま  
た施設整備費の内容は。

**答** 昭和50年代後半、54  
号線での商業集積が高ま  
る中、木次町は駅前の活  
性化・商業基盤のダム効  
果を期待し取り組まれた。  
今後も中心市街地活性  
化・買物弱者対策に呼応  
して対応していく。  
施設整備費は、空調機  
器・駐車場・商業施設の  
修繕改修に約4億円。

広域デマンド運行で  
利便性向上を



原 祐二

**問** 広域路線バスでの公  
共施設や市立病院、中心  
市街地への移動は利便性  
に欠く。拠点施設を周遊  
する広域デマンド運行便  
を試行できないか。



デマンド型バス

**答** 現在の広域路線バス  
の見直しを含め、利便性  
の向上に対処する。

**問** 良質米の生産対策と  
して、色彩選別機調整費  
の助成ができないか。

**答** 今後、状況を見なが  
ら検討する。

**問** ジビエ活用事業は、  
加工・販路に実績を持つ  
市・町との連携が必要で  
は。

**答** 実現を早めるために  
他市町の事例を参考に検  
討を進める。

**問** 認知症患者への的確  
な支援のため、本人同意

の登録制度による仕組み  
づくりが有効では。

**答** 同意があった方に対  
しては、地域や関係機関  
に情報提供と協力依頼を  
行ない適切な支援を図る。

**問** 市長を会長とする婚  
活推進協議会を設立し、  
応援組織や市民及び事業  
者が一体となった結婚対  
策が必要では。

**答** 結婚をする方々が多  
くなるよう努力しなけれ  
ばならない。他自治体を  
参考に前向きに考える。

高校の魅力化に  
よる地方創生を



松林 孝之

**問** 県の「しまね留学」事  
業で大東、三刀屋高校が、  
積極的に生徒を募集する  
学校とされたが、大東高  
校には寮がない。若者誘  
致の観点から設置しては。

**答** 市外、県外の生徒呼  
び込みには必要。県や高  
校と検討を進める。

**問** 通学の利便性向上は、  
市内外から生徒の確保に  
は必須要件。市民バスの  
利用率向上にも繋がるこ  
とから通学に適したダイ  
ヤに再編しては。

**答** デマンドとの整合を  
図りながら、通学に適し  
た路線、部活動にも配慮  
したダイヤを検討する。  
更に、市外から一定の生  
徒数が見込まれる場合に  
についても検討する。

**問** 一貫したキャリア教  
育の推進と、将来を担う  
人材の育成と確保の第一  
歩が、高校魅力化と考え  
る。基幹事業の一つと位  
置づけ、推進すべきでは。

**答** 人口の社会増を目指  
す総合戦略はチャレンジ  
の連鎖から成り立つ。そ  
こに高校生の参加は欠か  
せない。本市が次世代を  
担う人材を育まなければ  
ならない使命感を持ち、  
多くの高校生が巣立つよ  
う、最大限の努力をする。

一般質問



市内のスポーツクラブ

重点成長戦略は積極的な対策を



深田 徳夫

**問** 結婚対策が重要、市の戦略は積極性に欠ける。  
**答** 決して軽んじていない。積極的な対策を講じる。

**問** 若い世代の女性を雇用し、専門的に結婚相談等に応じては。

**答** 同年代・友人の勧めは確かに受け入れやすい。意見も参考に相談する。

**問** 市内のスポーツクラブは会費で運営、人材育成が課題。支援の考えは。

**答** クラブマネージャーの設置は重要、検討する。

**問** 「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」事業の評価と継続の考えは。

**答** 指導者不足を解消、体育の時間が充実、成果が上がった事業と認識し、市単独でできるか検討する。

**問** 温泉キャンパスの活動の実態と勉学や就労支援の併用型のサポートステーションと若いソーシャルワーカーの導入は。

**答** 恵まれた環境で様々な活動を実践、就学はキャンパス、就労は広域福祉会で支援している。医療や福祉の専門家は必要。

**問** 農地の市単独補助率を3分の2へ引き上げを。

**答** 他の事例も参考に補助率のあり方を検討する。

全国学力調査結果の公表を



西村 雄一郎

**問** 全国に比べ雲南市内の小・中学生の家庭学習の時間が少ないのでは。

**答** 大きな課題であると受け止めている。

**問** 全国学力調査の結果を公表して、勉強を大切にする気風を醸成することが大切ではないか。

**答** 学力調査の結果の原困や、どう改善するのかなどは、ホームページ、報道等で公表する。

**問** イクボス宣言について女性の本音は、「宣言しなければならぬほど男性の意識は遅れている」である。市長の所見を伺う。

**答** その本音のとおりと思う。実行に移すことが大切だ。

**問** サンチェリヴァ後継

店舗進出については、適切な市場競争が確保されなければならない。店舗に立体駐車場を無料利用させるのは、過剰な便宜供与ではないか。

**答** 立体駐車場に家賃を設定する考えはない。

**問** 店舗の家賃が市場価格とかけ離れ不当に安ければ、同業他店舗との正当な競争が損なわれる。

**答** 必要経費を基に適正な家賃とする。

ていない。今後チームを組んで協議していきたい。

**問** 市内唯一のゴルフ場振興策について伺う。

**答** 民間と行政の知恵で妙案を出し実践できるよう、ゴルフ場と相談する。

**問** 清嵐荘の改修計画に指定管理者を決めて参画させるべきだ。

**答** 現在の指定管理者の意見聴取は行なうが、事前に指定管理者を決めることはできない。

**問** 休業中の職員対応は。指定管理者による処遇が基本。市としても連携して雇用不安に繋がらないように対応したい。

**問** 浴室の営業と源泉管理はどうなるか。

**答** 浴室は工事期間中休業する。源泉管理は今後専門家と協議する。

**問** 総合的な有害鳥獣対策を検討すべきだ。

**答** 交付金事業、補助事業を活用した自主活動が大原則。あらゆる対策を講じていきたい。

瑞風号の歓迎準備に万全を尽くせ



堀江 眞

**問** 特別寝台列車瑞風は高殿に何を求めて来るか。

**答** ここでしか味わえない特別な日本の原風景だ。

**問** 受け入れ準備体制は。

**答** 現在菅谷高殿に立ち寄ること以外、一切決まっ

農地中間管理機構  
の制度緩和を



土江 良治

**問** 農地中間管理機構の26・27年度の現状は。

**答** 初年度は6件の相談の内、成件数は法人の2組織で5.5ha。今年度は6.8haが機構へ預けられる予定。

**問** これまでの取り組みで、機構制度の課題は。

**答** 地域集積協力は、機構制度以前は貸し手にはなかったが、制度創設後には交付されることになった。全国一律の農政ではなく、中山間地に合った農政を展開すべく、実情を強く国に対して訴えていく必要がある。

**問** 県・市道と耕作地の間に大きな法面がある。下から刈り上げと、公費刈り下げの中間どころの



草刈り

草刈りは難渋している。なんとかならないか。

**答** 今後も地元の皆様のご理解とご協力をお願いしたい。が、実態を把握しながら何がやっていけるのかも含め、今後対応を検討していきたい。

**問** 米価超低迷。省力化のため乾田直播の推進は。

**答** 市内で2件の湛水直播が実施されている。実態としては品質管理が難しい。

マイナンバー制度は  
中止すべき



多賀 三雄

**問** 不登校・ひきこもり対策の対象者は、全体から見れば、ごく少数である。そこにお金、人をつぎ込み過ぎていくとの声も聞く。どう応えていくのか。

**答** 社会的弱者と言われる立場の人は不登校・ひきこもりの方だけではない。様々な立場の方がおられるが、市全体から見れば、数は極めて少ない。しかし、「一人は万人のために、万人は一人のために」という標語があるように、いかに少人数であっても、本市を良くしていくため、しっかりと対応していく。

**問** マイナンバー制度には、様々な問題点がある。個人情報漏えい等から、

先進諸外国でも見直しや廃止されるなど、国民に不利益だ。

巨額の投資をしてまでやる価値があるのか。中止すべき。

**答** 米国や韓国での事例、日本年金機構の事例等を踏まえ、この制度が検討されてきた。市民にも利便性の高い制度であり、中止すべきものではないと考える。

憲法違反の  
安保関連法



細田 実

**問** 国民の多数が反対し憲法違反の安保関連法案は、国民の理解なく数えては行かないと考えるが、頼んで強行に法案を通しては行かないと考えるが。

**答** 国民の理解が得られない説明がされていない事態に変わりはない。理解

を得る時間が必要である。

**問** 人口増、定住には地道な福祉の取り組みが重要だ。まちづくり、定住策に女性の視点を取り入れる体制をとるべきではないか。

**答** 地方創生の推進体制にも女性職員の参画を進め、女性の視点で立案チェックする体制を作る。

**問** 子どもの貧困率が16.3%、子どもの6分の1が貧困状態にある。本市の現状と対策を伺う。

**答** 生活保護を受けている世帯の子どもの数は、平成19年に7人、平成25年は24人と3.5倍に増加。就学援助を受けた児童生徒は、平成20年度が268人から323人に20%増加している。本市においても貧困の広がりも認められる。複数の要因が絡まっていて、少しでも改善できるよう努力していく。

## 一般質問

### 障がい者就労に 全力の取り組みを



中村 辰眞

**問** 障がい者雇用に関して本市には、一般就労先はもちろんであるが、就労継続支援作業所A型が不足している。家族からもA型作業所の増加を望む声がある。出雲養護学校雲南分教室が開校した今こそ、障がい者雇用に対する取り組みを強化するべきではないか。

**答** 障がい者の就労先で雇用契約を結び、法定賃金制を尊重する就労継続支援作業所A型は一事業所しかない。障がい者の雇用先の確保は、先進地事例を参考にし対応する。  
**問** 東京圏をはじめとする都市部の高齢者が、自らの希望で地方に移り住み、地域社会において健

康で活動的な生活を送ると共に、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けられることが出来るような、地域づくりを目指すCCRC構想に対し本市は取組む意向を示したが、所感を伺う。

**答** 本年4月、全国の自治体への意向調査に対し、本市の姿勢としては、制度内容等の詳細が示されていないが、人口増や地域経済への影響を考え、前向きに検討すると回答した。

### 必要なのか6次 産業化拠点施設



周藤 正志

**問** 本市の食の幸を生かし、またこれまでの農商工連携プロジェクトの成果を生かすことに異論はなく、6次産業化の推進

も理解できる。しかし、大型事業が続く中、6次産業化拠点施設という新たなハコモノに取り組み必要はない。むしろ中心市街地活性化事業で計画されている物産館、情報発信館に取り込んで、官民一体で取り組むべきだ。

**答** この施設は、①加工食品の加工過程の見える化で集客し、農業支援につながる施設で、②若者チャレンジ工房による起業を支援し、③隣接する木次道の駅と尺の内公園との連携でも集客を図るもので、中心市街地活性化事業における物産情報発信拠点とは、差別化できると考えている。

**問** 新商品開発支援事業の補助金を利用して、これまで約60件の商品が生み出されているが、一部を除いてほとんど知られていない。あまりにもPR不足ではないか。

**答** 認知されていない実態なので、様々な媒体を通して情報発信していく。



新庁舎開庁に伴い、議会も新庁舎5階に移動しました。議員一同、新たな気持ちでこれからの議会活動に臨んで参ります。皆様方の傍聴をお待ちしております。

# 中学校3年生が本会議を傍聴

9月8日、9日に木次中学校3年生が一般質問を傍聴しました。生徒の感想文を一部ご紹介します。

## 安部朔耶さん

初めて行ったので、質問の意味や答は難しくよく分かりませんでした。皆さんが一生懸命雲南市のことを考えておられて、きっと、どんな今よりも更にもいい雲南市になると思いました。

## 岡田龍之介さん

初めて雲南市議会を傍聴して、とても身近なことを話しておられて聞き取りやすかったです。それと同時に雲南市の課題がたくさんあり、自分たちにもできることはないかと思いました。

## 高橋侑聖さん

議員の方は雲南市をよくよくするために、たくさんの方のことを行なってお



られることを知りました。地方の政治や安全保障について、公民で学び、十八歳になったら、意味のある投票がしたいです。

## 郷原聖士さん

マイナンバー制度や平和行政について、議員の方の考えを聞き、安倍政権に対しての考え方が少し変わりました。それと同時に、日本の政府を見る自分自身の視野が広がったと思います。



## 小林泰雅さん

テレビで見るとより、和やかな雰囲気でした。休み時間に速水市長とお話しする機会がありました。とても丁寧な僕達に話してくださるところに好印象をもちました。

## 深田紗生さん

私は将来、島根県に住むかは分からないけど、自分の生まれた雲南市を大切にしたいと思いました。それに、もっと政治のことや雲南市の課題について目を向けてみようと思います。

## 編集後記

9月定例会は、本会議、一般質問、委員会審査、最終日の表決に至るまで、白熱した議論が展開され、傍聴者は過去最多の200名を超えました。

さて、今年は、戦後70年。永井隆平和賞発表式典は素晴らしい催しとなりました。永井隆博士の母校であり、来年3月、三刀屋小学校に統合される、飯石小学校の児童、職員

による平和学習発表「あの子」は長年にわたり取り組まれた平和教育の成果であり、その素晴らしい会場から称賛の拍手が送られました。

合併協議会から協議が重ねられてきた市役所新庁舎が10月13日に開庁しました。

庁舎の新築とともに求められるのは、市民サービスの向上であり、市議会も一層の向上を目指します。

## ご意見お待ちしております

議会活動、議会広報、議会ホームページについてご意見やご感想などお気づきの点をお寄せください。  
(回答が必要な場合は連絡先を明記してください)

雲南市議会事務局  
電話：(0854) 40-1004  
FAX：(0854) 40-1009  
MAIL：gikai@city.unnan.shimane.jp

### 議会広報広聴特別委員会

|      |         |
|------|---------|
| 委員長  | 西村 雄一郎  |
| 副委員長 | 白 築 俊 幸 |
| 委員   | 松 林 孝 之 |
|      | 中 村 辰 真 |
|      | 原 祐 二   |
|      | 矢 壁 正 弘 |
|      | 深 田 徳 夫 |
|      | 周 藤 強   |